

グローバル資産運用会社のアジアに対する経営戦略

佐藤 秀樹

目 次

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. はじめに | 3. グローバル資産運用会社のアジア戦略 |
| 2. グローバルな資産運用業界の展望 | 4. まとめ |

1. はじめに

資産運用業界はいまだかつてないスピードで金融界の中心的な存在になってきている。そこで、本日はまず、グローバルな資産運用業界についてお話をし、それがアジアのビジネス展開にどうつながっていくのかというお話をしたい。

2. グローバルな資産運用業界の展望

グローバルな資産運用業界について、まず2008年から13年までにどのような地域に運用資産の流入が起こっていたかを振り返ってみよう。

図表1の棒グラフ下の楕円囲いの数値にあるように日本はマイナスの流入、北米とヨーロッパの純

流入も大きくない中でアジア新興国は39%と最も大きな伸びとなり、南米、中東・アフリカ、そしてオーストラリアも大きく伸びている。このような資金流入の伸びを見ても、われわれインベスコだけでなくグローバル資産運用会社がアジア新興国をはじめとする国々に目を向けていくのは当然であると考ええる。

実際にこれから先の資産運用の世界を予想しているデータがいくつかあるが、その一つに20年には世界の資産運用残高は100兆ドルを突破するとの見通しがある(図表2)。もちろん、その80%弱を占めるのは北米と欧州であるが、残高の伸び率ではアジア、ラテンアメリカ、中東・アフリカの国々の伸び率がかなり大きい。二つ目に顧客チャンネルという観点で見た場合には、中間



佐藤 秀樹(さとう ひでき)

インベスコ・アセット・マネジメント(株)代表取締役社長兼CEO。1993年慶應義塾大学商学部卒業後、同年三井物産入社、銅地金の現物・先物取引を担当。94年よりウエスト・ドイツ・ランデス・バンク東京支店(98年シンガポール支店に異動)で外国通貨資産のトレーディング業務に従事。99年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントに入社、05年同社法人営業部長に就任。08年フィデリティ投信執行役投信営業本部長に就任。12年9月インベスコ投信投資顧問(現インベスコ・アセット・マネジメント)の代表取締役社長兼CEOに就任、インベスコ内でアジア・パシフィック・マネジメント・コミッティのメンバーおよびインベスコ・グローバル・シニアリーダーのメンバー。